勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

	大項目	関係者	項目	2023年度末の状況	2024年度目標	2024年度目標：具体的内容	2024年進捗状況	2024年度末評価	
(ア) 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担の具体的内容	診療支援	看護師	初診時の予診の実施	15歳未満のA1問診表を小児科と小児外科で導入と定着	5月1日から小児問診表の拡大の定着、8月頃から15歳以上共通問診表のスクナ取込みを実施予定	・小児問診表診療科拡大の評価 ・15歳以上共通問診表導入に向けて2024年7月までに運用フローの作成と周知 ・2024年8月より実施予定	11/18から15歳以上の共通問診票スキャン取込み実施		
		看護師 検査技師	静脈採血等の実施	採血業務を看護師と検査技師で行う	前年度目標継続	継続	継続		
		看護師	静脈注射又は留置針によるルート確保	ルート確保を看護師が行う	前年度目標継続	継続	継続		
		外来医事課	健診情報、薬剤情報の診療支援の活用	問診票の一元化、電子化に向けた準備	健診情報、薬剤情報を活用した外来診療の実現	・2024年7月までに運用フローの構築周知 ・2024年8月より実施	・患者がマイナンバーカードを利用することで、薬剤・処方・調剤情報を取得することができ診療支援として活用。 ・患者にマイナンバーカードの利用促進と医師へ情報活用の推進を行った。		
		看護師 診療アシスタント 医師事務作業補助者	検査手順の説明の実施	検査手順を看護師・診療アシスタント・医師事務作業補助者が実施	前年度目標継続	継続	継続		
		薬剤師	薬剤管理指導	病棟薬剤管理指導件数の月別平均件数 2023年度：4097件 2022年度：3993件 2021年度：4020件	入院患者に対して薬剤師が薬学的介入を行う割合を維持する	入院患者に対して薬剤師が薬学的介入を行った割合を測定する。 分子：薬剤管理指導料算定件数 分母：1週間ごとの入院患者数の和 目標値：88%	入院患者に対して薬剤師が薬学的介入を行った割合 4月84%、5月85%、6月70%、7月87%、8月84%、9月72%		
		薬剤師	処方支援業務	入院処方オーダー支援 医師の同意を得て薬剤師が処方オーダーを入力する。 月別平均件数 5,467件 月別平均支援率 12.8% 外来処方オーダー支援 疑義照会により処方変更が発生した際に医師の同意を得て薬剤師が処方オーダーを修正する。 月別平均件数 139件 月別平均支援率 14.1%	処方支援の業務範囲を拡大する。	入院処方オーダー支援 分子：処方支援として薬剤師が入力したオーダー件数 分母：処方オーダーの件数 目標値：17.5% 外来処方オーダー支援 分子：薬剤師が修正した処方オーダーの件数 分母：処方変更となった処方オーダーの件数 目標：15%	入院処方オーダー支援 4月12.8%、5月12.8%、6月14.9%、7月15.3%、8月16.6%、9月16.7%		
		医師事務作業補助者	診断書等の文書作成補助	作成期限遵守率 99.4% 作成支援率 72.4% (26,030件)	文書作成支援維持と作成期限遵守	・文書作成支援維持と作成期限 (96%) 遵守	作成期限遵守率 4~9月平均99.5% 作成支援率 4~9月平均62.8%		
		医師事務作業補助者	外来診療支援 (代行入力、各種説明、案内等)	・術前外来において、12月にTAVIの局所麻酔説明を開始。末梢神経ブロックは2024年度開始予定。 ・複数人体制で安定した支援提供を継続中。	標準化と効率化による安定的な支援の提供	・術前外来における麻酔説明の種類拡大 ・外科外来における代行業務移管と整理 ・外来予習の効率化、人材育成を継続し、安定した支援を提供する	・術前外来において、10月から末梢神経ブロックの説明開始。 ・人材育成による支援体制構築		
		医師事務作業補助者	診療記録への代行入力	・医師の希望に応じて、入院診療計画書、診療情報提供書、退院サマリ、入院病歴要約、退院療養計画書の作成支援を継続中。	支援継続と業務拡大	・入院診療計画書、診療情報提供書、退院サマリ、入院病歴要約、退院療養計画書、診察記事の作成支援を継続する。 ・救急から即日入院した紹介患者の返書（診療情報提供書）第一報作成支援を開始する。	・医師の希望に応じて、入院診療計画書、診療情報提供書、退院サマリ、入院病歴要約、退院療養計画書等の作成支援を継続中。 ・紹介初診患者の外来診察記事下書き業務を拡大。 ・他院CD-R取り込みオーダー代行入力を全診療科へ拡大。		
		入院医事課	入院時の案内等の病棟における患者対応業務	・入退院に関する世話の実施 ・電子診療録への患者データベースの代行入力	・入院時の案内等の病棟における患者対応業務 ・転院時の準備物補助業務	継続して入院時の案内等の患者対応業務を行う 転院時に必要な書類等の準備支援	・入退院に関する世話の実施 ・電子診療録への患者データベースの代行入力		
		医療の質の向上に資する事務作業	医師事務作業補助者	診療に関するデータ整理 院内がん登録等の統計・調査	・資格取得によりスキル向上に努め、安定的に各科データベース登録業務を継続中。	支援継続	・各科データベース登録業務を安定的に継続する。	・安定的に各科データベース登録業務を継続中。	
			医師事務作業補助者	教育や研修・カンファレンスのための準備作業	・フォロー体制を構築し、安定的に各科カンファレンス資料作成、研修の準備業務を継続中。	支援継続	・各科カンファレンス資料作成、研修の準備業務を安定的に継続する。	・安定的に各科カンファレンス資料作成業務を継続中。	
		(イ) 医師の勤務体制等に係る取組について	人事・労務管理	人事部	①前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保（勤務間インターバル）	勤務計画にはインターバルは確保できた	インターバル確保の徹底	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査
人事部	②予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮			予定手術前日に当直、夜勤を入れないよう勤務を計画した	予定手術の前日は夜勤を入れないことを徹底	定期的に勤務状況を調査	定期的に勤務状況を調査		
ワークライフバランス委員会	③交替勤務制・複数主治医制の実施			2024年1月に産婦人科の宿日直許可申請認可。すべての診療科で新しい勤務体制に移行完了となった	現状の交替勤務制・複数主治医制を継続実施	現状の制度を継続し、必要に応じて改善を図る	G-ICU常駐体制維持のための新シフト作成対象診療科へ周知、運用開始した		
人事部	④育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規雇用医師の活用			短時間勤務医師の雇用を実施	継続	継続して短時間勤務の医師を雇用	継続		